キャラクター名	プレイヤー名
ダガー（オベリスク=ブロッスレイヴ）	

種族	ナイトメア	**種族特徴**	異貌、弱点[水氷、銀+2]
生まれ	軽戦士	**性別**	男	**年齢**	112
冒険者Lv	15	**経歴**	
経験点	0		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	11	器用度	10	23		44 + 2	7
		敏捷度	8	33		52 + 2	9
体	13	筋力	2	9		24	4
		生命力	1	6	4	24	4
心	6	知力	5	23		34 + 2	6
		精神力	8	16		30	5

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	15		
スカウト	15		
エンハンサー	11		
アルケミスト	1		
デーモンルーラー	15		
ウォーリーダー	6		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	15	22	24	19
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	アビ1、バトラースーツ		10	1	0
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動　etc)				2	
回避技能	フェンサー	合計値		27	0

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イグ、コニングシャフト・カスタム+1アビス2 小魔の封入具	1H両	12	2	2d+ 25	10	24	32										
イグ、コニングシャフト・カスタム+1アビス2	1H両	12	2	2d+ 25	10	24	32										
				2d+													

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34 p	二刀流	1-281p
トレジャーハント	2120 p	シャドウステップ	OP134p
ファストアクション	2123 p	武器習熟S/アックス	1-281p
影走り	2120 p		p
トレジャーマスター	3143 p		p
匠の技	3143 p		p
魔力撃	1-292p		p
両手利き	1-283p		p
変幻自在	1-282p		p
回避行動	1-279p		p
武器習熟A/アックス	1-281p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語		○
魔法文明語	○	

一般装備品	(消耗チェック)
剣の欠片x11	○□□○□□
魔晶石	○□□○□□
魔香草x7	○□□○□□
アビスシャード(ヤハエ産)x6	○□□○□□
アビスシャードx4	○□□○□□

所持金	預金・借金
547060 G	G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	54 m	162 m

回避	防護点	HP
2d+ 27	0	71

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/×	2d+ 25	2d+ 19	2d+ 20	77

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
召異魔法	15	21			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	烈火
オウルビジョン	旋風
キャッツアイ	旋刃
マッスル	輝斬
ケンタ	
デモフィ	
ジャイアント	
リカバリ	
スフィノレ	
カメカム	
ジィプロ	
パラミス	
攻陣Ⅰ	
予見Ⅰ	

名誉アイテム	点数
名誉点 所持 188	/合計 188

	装備品	説明
頭	スマルティエのヘッドバンド	
耳	ディスプレイサー・ガジェット	
顔	軍師徽章	
首	スマルティエの銀鈴	
背中	スマルティエの風切り布	
右手	疾風の腕輪	
腰	多機能チキンベルト(スマルティエの武道帯)	
足	サイレントシューズ	隠密判定+2
その他	叡智の腕輪	

	装備品	説明
左手	スマルティエの宗匠の腕輪	
	スマルティエのアンクルスリーブ	

その他メモ

異貌時与ダメ＋1　オーダーメイド:トマホーク×２
<大破局>時に成り上がり、一時は蛮族を率いて一国の王にまで上り詰めたあるディアボロが築いた一族、つまり魔王一族の末裔。大破局の末にその蛮族達の王国も終焉を迎え、王族たちは抹殺されるか、魔法文明時代より代々種が扱われてきた“奴隷”にその身を堕としていった。
以降世代が変わる毎に王国の記憶も末裔たちの頭から消えていき、奴隷同士での混血が続く。混血エルフのナイトメアとして生まれた彼に残されたのは、当たり前に使える穢れた力と、当たり前に自分は奴隷であるという事実だけだった。彼を物心つく前に買ったある富豪はその血による才と老化の停滞を買い、警護と暗殺のスペシャリスト、最強の私兵に育て上げるべく異常な教育を施す。<花の奴隷>という性を与えられて広大な敷地の雑草刈りを片手鎌一本一人でやらされ、「１輪でも花を枯らせるお前に生きる価値はない」と“首切りの練習”をさせられる。数十年近くを経て成長した彼が最初に飛ばした首は自分を育てた雇い主。本当の解放を求めて、彼は屋敷を飛び出した。
「いつか許してもらいたくて旅をしてるんだ。僕が今生きていることを。」

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟